



愛知医科大学メディカルセンターってどんなところ？

愛知医科大学メディカルセンターを訪問して我々北部地域の中核病院として理解を深めました。

2021年4月（旧）北斗病院のあと、愛知医科大学病院（長久手市）の分院となりました。2023年2月、二次救急が365日体制に強化されました。救急患者の受け入れ、心臓リハビリの対応、検査室、透析センターがリニューアルされました。また従来の整形外科・リハビリ科に加えて、内科系も充実されて来ました。



初診の方へ

病院の詳細は QRコード参照

取材風景

1. まずは、電話して、症状に合った診療科を知り、予約を入れる。
2. 熱の有る方は 窓口を変えて案内されるため、周りを気にせず行ける。
3. 緊急でも、紹介状なしで行け、支払いは後払出来ます。
4. 訪問看護もあり、自宅での療養生活が可能です。
5. 慢性的な痛みのある方 短期(2週間)入院で 個別リハビリに専念できます。
6. メディカルセンターで対応出来ない時は、専門医の紹介や、転院の相談にも応じてくれます。

利用者の声

1. 待ち時間は少なく、自動会計、薬局も敷地内にあり効率的。
2. 駐車場 余裕あり、やさしいガードマンの誘導。
3. 受付が分かり易く、高齢者にも親切で安心。
4. 待合室のソファの座り心地が抜群。

☆福祉委員会から：今後とも、岡崎市北部地区の拠点病院としての役割を担っていただく様、期待しています。

取材メンバー 巾、柳、檀

北斗台団地 グリーンスローモビリティ試乗体験会

★試乗体験会を実施

北斗台は岡崎市内住宅団地のうち、今後10年で最も高齢者の増加率が高くなる地域である。6月4日地区内での生活移動支援として期待されるグリーンスローモビリティ試乗体験会が行われ、住民約110人が参加した。

<試乗後の主な意見>

- ・乗り心地もよく便利な移動手段として利用できそう。
- ・年寄りの買い物や、病院通いにも便利でよい。
- ・免許証返納しました。待ってます、嬉しいです。

愛称:くるりん北斗

グリーンスローモビリティとは、時速20km/h未満で公道を走行できる、電動車を活用した、小さな移動サービスで、その車両も含めた総称です。



☆今後、本格的な実証実験が行われる予定！

北斗台会館前から巡回試乗

高齢者の在宅訪問をしました 一細川地区一



大橋さん

楽しいことは携帯電話で友達とお話し、好きな花はローゼルです



ローゼル



桑子さん

大切なことは健康
お花の世話で好きな花
黒法師です



黒法師



内田さん

千両万両の艶やかな赤い実が楽しみ



千両

お変わりありませんか？
私達に出来ることで何か
お役に立てれば。

担当：長坂・永田・鈴木



手土産品

7月のいきいきクラブ・マジックショー

夏休みです。北斗台入り口にあるNPO法人花音（かのん）から、マジックショーを楽しむために、5人の子供たちがやってきました。

部屋に入ってくると、みんなニコニコ なんとほほえましく

わくわくした雰囲気になりました。マジックショーの演者さんたちも、子供たちに魔法の粉をかけるように頼んだり、こちらもその度に上手くできるかちょっとハラハラしてみたり。

マジックそのものも楽しんだけど、プラスアルファがありました。ショーを見ることは子供たちにとって貴重な体験だったようで、先生や親御さんに、その時の様子をいっぱい話したそうです。

違うグループと接点を持つことで生まれた有意義な時間でした。

・奇数月は細川デイサービスの清野先生のストレッチもあり、健康寿命が伸びました。

★8月度は「家康公と大給松平家」👉 QRコードから。



マジックショー



魔法の粉をかける



赤い羽根共同募金に、ご協力を！

細川学区福祉委員会活動資金の半分は、学区で集めた「赤い羽根共同募金」から還元される助成金で、賄っております。

近年、学区の共同募金額は年々減少し、助成金も減少している状況にあります。

我々福祉委員会が高齢者向けに行っている活動は、予算繰りに苦勞しながら、制約された中で行っております。

地域の皆さまへ、 年末に行われる共同募金には一人でも多くの方にご賛同頂き
ご協力をお願いします。

福祉委員長 入江紀夫

